

# 何のために保存するのですか？

- 1) 東電福島第一原発によって、人工の放射性物質・ストロンチウム90 (Sr-90) も大気中に飛散しました。体内に取り込まれたSr-90は、調べられていません。それを乳歯を使って測定するのです。詳しくは、このリーフレット内側をご覧ください。
- 2) 測定の結果は、子どものいのちと健康を守るために使います。  
被ばく事実の確認、被ばくと健康への影響の分析、一般市民や国・自治体に対する提言の基礎資料とします。
- 3) 子どもたちの健康影響を調べるためには、一地域だけでなく全国のデータが必要です。  
お子さんの抜けた乳歯を捨てないで、記録カードと一緒に保存しておきましょう。

連絡先住所：  
〒502-0017 岐阜県岐阜市長良雄雄878-16 岐阜環境医学研究所内 TEL:047-711-5201 FAX 058-296-3903  
〒270-2253 千葉県松戸市日暮1-6-1 きよとう歯科 TEL:047-711-5201 FAX 047-711-5202

ゆうちや銀行  
店名 ○八九(ゼロ/ハチキュウ)  
預金口座 当座  
番号 0136195  
名義 乳歯保存ネットワーク

銀行振込の場合：

郵便口座： 記号番号 00890-1-136195  
名義 乳歯保存ネットワーク

乳歯保存・測定所建設にご賛同、ご協力をよろしくお願いたします。

連絡先メールアドレス： pdmn311@gmail.com  
ホームページアドレス： <http://pdmn311.jp/indo.com>

「乳歯保存ネットワーク」

全国のみなさん

## 乳歯の保存を呼びかけます



乳歯保存ネットワーク

連絡先: pdmn311@gmail.com



イラスト：大志多麻衣



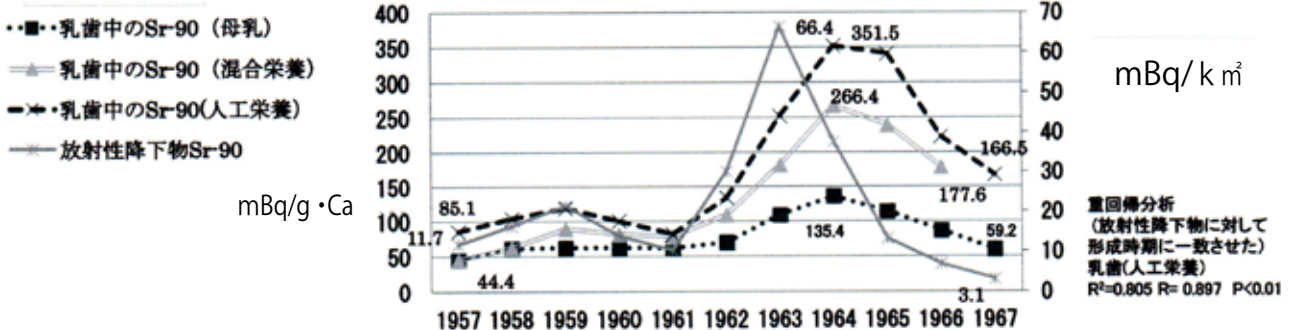
## 抜けた乳歯を捨てないで、 記録カードといっしょに保存しておきましょう

カルシウムによく似たストロンチウム90 (Sr-90) は、空気や食べものから体内に取り込まれると、骨や歯に蓄積されます。赤ちゃんの歯は、お母さんのお腹でいのちが生まれて5～6週間経った頃からではじめ、生まれて6～8ヶ月経つと生えてきます。Sr-90は、骨だけでなく乳歯にも蓄積されるのです。

乳歯(上下20本)は、6歳前後からおとなの歯である永久歯に生え変わります。Sr-90の半減期は約29年なので、抜けた乳歯であってもSr-90は長い間ほとんど無くなることはありません。乳歯を保存しておけば、その中にあるSr-90をいつでも測定することができるのです。被ばくしていたら、その程度を知ることができるのです。

1950年代から60年代にかけて、とくに南太平洋で核実験が行われていたことを知っていますか。その核実験で放出された放射性物質のひとつであるストロンチウム90 (Sr-90) は、気流に乗って日本にも飛んできました。Sr-90は白血病や免疫不全、がん以外の病気の原因ともなるので、全国各地で調べられました。それが下のグラフです。

日本における放射性降下物<sup>90</sup>Sr量と日本人乳歯の<sup>90</sup>Sr量(1957-1967年)  
第19回放射能調査研究抄録集(文部科学省)10 環境放射能データベース25)を改編



ここに見られるように、放射性降下物量に比例して乳歯中のSr-90の蓄積量が高くなっています。また乳児の栄養の違いによって、乳歯中のストロンチウム90の蓄積量に差があることがわかりました。

2011年3月11日の東京電力福島第一原子力発電所事故は、大量の人工放射性物質を放出し、地球規模で自然環境を汚染しました。破損され穴とひびの入った格納容器に流れ込む大量の地下水は、溶け落ちてたまっている核燃料と接触して高濃度に汚染され、今なお海に流出し続けています。

原発事故後、研究者は、動物の乳歯や骨などに蓄積する人工放射性物質について調べました。今までに行われたウシ、ブタ、野生ネズミ、サルについての研究から、とくに若い動物の歯にストロンチウム90が顕著に蓄積していることが明らかにされています。その値は高濃度汚染地ほど高くなっています。同じようなことがヒトにも起こっている可能性があり、そのことを私たちは心配しています。

子どもたちを見守ってゆくために、私たちはみなさんに、まず乳歯を保存することを提案します。

日本には乳歯一本一本のストロンチウム90を測る測定所がまだありません。時間がかかりますが、測定所の建設も計画中です。これからはますます市民が力を合わせて、子どもたちを見守ってゆく必要があります。

ひとまず「記録カード」と一緒に、乳歯を保存しておきましょう。